



西表の森林の特徴

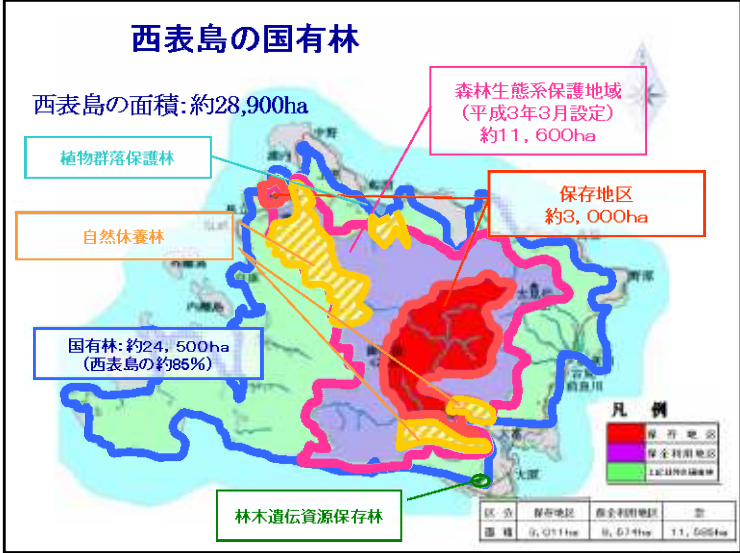
西表島森林生態系保護地域計画（保存すべき生物等）

1 植物相

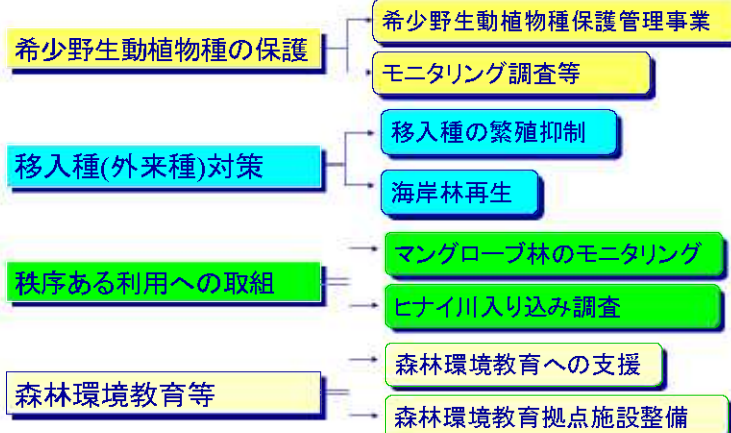
- 日本列島の常緑広葉樹林帯に属する。
- 山地にはスタジイの優占する照葉樹林帯。
- 河口付近にはマングローブ林、サガリバナ林など熱帯に共通の群落が発達。

2 動物相

- **哺乳類**
国の指定特別天然記念物のイリオモテヤマネコのほかヤヤマオオコウモリ、ヤヤマコビナゴウモリ、ヤヤマコキクガシラコウモリ、インガキカグラコウモリ等の土着種が生息
- **鳥類**
国指定特別天然記念物のカンムリワシ、国指定天然記念物のリュウキュウキンノバト、アカヒゲ、カラスノバトのほかリュウキュウアカショウビン、オオクイナ、シロガシラ等が生息
- **両生類・爬虫類**
国指定天然記念物のセマルハコガメ、キシノウエトカゲのほか、リュウキュウカジガエル、ヤヤマアマガエル、ミナミイシガメ、ホオグロヤモリ、サキシマキノボリトカゲ等が生息
- **昆虫等**
昆虫の種類は極めて多く、県指定天然記念物のアサヒナキマダラセセリ、コノハチョウのほか、ミカドアゲハ、シロオビアゲハ、カラスアゲハ、ツマベニチョウ、ウラナシロチョウ等が生息



西表島の森林生態系保全への取組の現状



希少野生動植物種の保護

- 希少野生動植物種保護管理事業
 - ・ イリオモテヤマネコ
 - ・ カムリワシ
- モニタリング調査等
 - ・ 森の巨人サキシマスオウノキ(仲間川)
 - ・ 森の巨人才ヒルギ(浦内川)
 - ・ 船浦ニツパヤシ植物群落保護林
 - ・ ウブンドルのヤエヤマヤシ群落

希少野生動植物種保護管理事業 (イリオモテヤマネコ・カムリワシ)



西表島の国有林内に生息するイリオモテヤマネコ及びカムリワシを保護管理するため、個体の保護・保全等に係る巡視を行っています。

イリオモテヤマネコの保護管理事業 (沖縄森林管理署)



1. 巡視
森林官と巡視員(自然保護管理員)が各ルートを巡視し、痕跡等の調査を行っています。糞等の痕跡は琉球大学理学部研究室に送付し、分析を依頼しています。
2. 自動撮影カメラ調査
沖縄森林管理署と琉球大学との共同事業による調査を実施しています。

カンムリワシの保護管理事業 (沖縄森林管理署)

巡視
森林官と巡視員(自然保護管理員)が各ルートを巡視し、生息分布等の調査を行っています。

希少植物の保護 森の巨人サキシマスオウノキ(仲間川)

平成17年度
琉球大学熱帯生物圏研究センター
巨樹・巨木協議会事務局(竹富町)
沖縄森林管理署
西表森林環境保全ふれあいセンターにて「樹勢調査」を実施

●テラスの付け替え(沖縄森林管理署)
●モニタリング調査
①生育状況
②光環境
③周囲の植生、着生植物の変化
④土壌硬度

着生物の除去
モニタリングの実施
等について提言

幹周り: 254cm
板根の高さ: 330cm
板根の高さ: 246cm

推定樹齢400年

森の巨人才ヒルギ(浦内川支流)

平成17年度
琉球大学熱帯生物圏研究センター
巨樹・巨木協議会事務局(竹富町)
沖縄森林管理署
西表森林環境保全ふれあいセンターの共同で「樹勢調査」を実施

樹勢回復措置(平成18年6月)
①枝を木製支柱で支える
②オヒルギ周辺の地盤を下げる
③幹の空洞部への防腐処置
④乾燥防止のための水路の設置

モニタリング調査
①生育状況
②光環境
③周囲の植生、着生植物の変化
④地盤高

樹高: 8
幹周り: 355cm

推定樹齢350年
処置前

処置後(現在)

船浦ニッパヤシ植物群落保護林

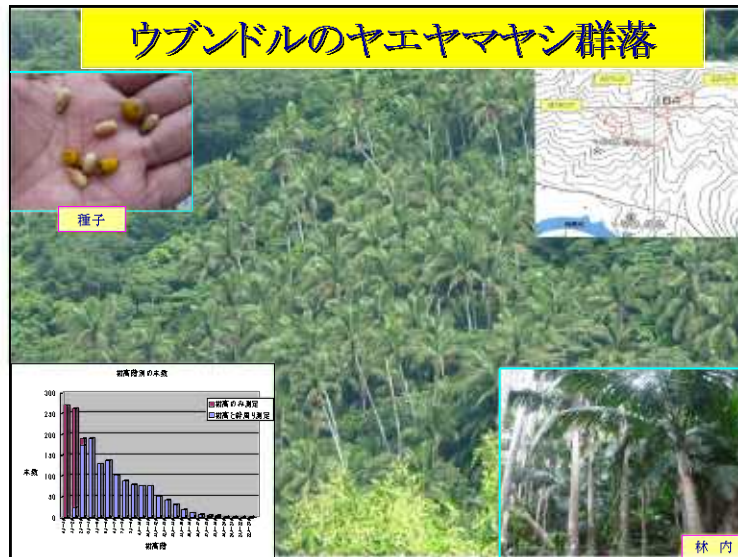
●国内のニッパヤシ生育地は船浦と内離島(国内唯一の自生地)
●自生地の北限

●ニッパヤシを被圧しているオヒルギ等の除去を実施
(平成17年3月、平成18年3月 沖縄森林管理署)

●平成15年にニッパヤシ群落の維持回復のための調査及び検討委員会を実施
(沖縄森林管理署)

●モニタリング調査
①生育状況
②光環境
③周囲の植生
④地盤高

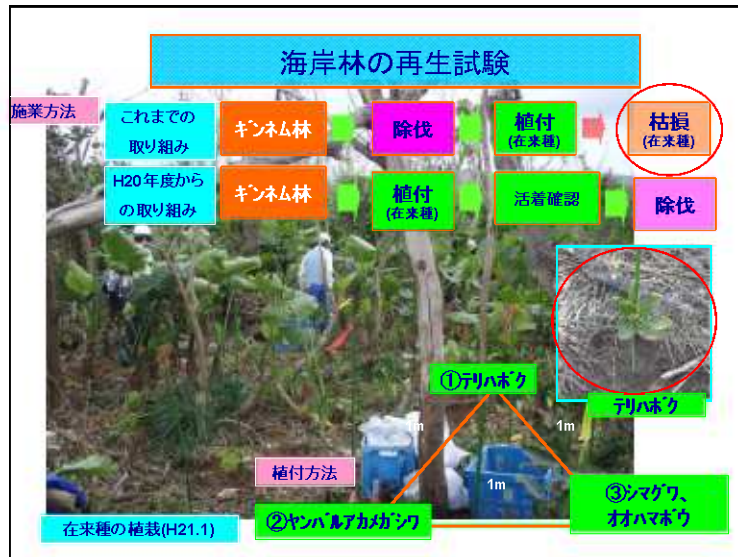
雄花
雌花
種子



移入種対策

- ソウシジュ
1906年(明治39年)、防風、緑肥用として台湾から導入
繁殖抑制試験
- ギンネム
1910年(明治43年)、緑化用としてスリランカから導入
繁殖抑制・海岸林再生試験





秩序ある利用への取組

- マングローブ林のモニタリング
浦内川、仲間川
- 入りこみ者数の調査
ヒナイ川



国有林の秩序ある利用に向けた取り組み

ヒナイ川地区

ガイドへの聞き取り調査



カヌー係留地点の整備



現状と課題

- カヌー係留地点の混雑
- 踏圧による土壌硬化、根の露出
- 事故の発生
- 森林生態系への影響(外来種等の定着の懸念、排泄物等)

当センターのこれまでの取り組み

- 入り込み調査の実施
- 情報の公開(HP等)

西武島カヌー組合のこれまでの取り組み

- 自主ルールの強化
- カヌー係留地点の整備
- 教員訓練の実施

ヒナイ川でのカヌーツアー

木道(森林環境教育の拠点施設、モニタリング)

ガイド講習会









モニタリング調査

森林環境教育

- 森林環境教育への支援
- 森林環境教育拠点施設整備

森林環境教育

上原小学校



船浦中学校



大原中学校



森林環境教育拠点施設の整備



木道の利用目的

- ①森林環境教育の推進
- ②希少野生動植物種等のモニタリング
(ガイド講習会の受講者によるモニタリングを含む)

木道(延長150m)





木道(森林環境教育の拠点施設、モニタリング)



ガイド講習会



モニタリング調査